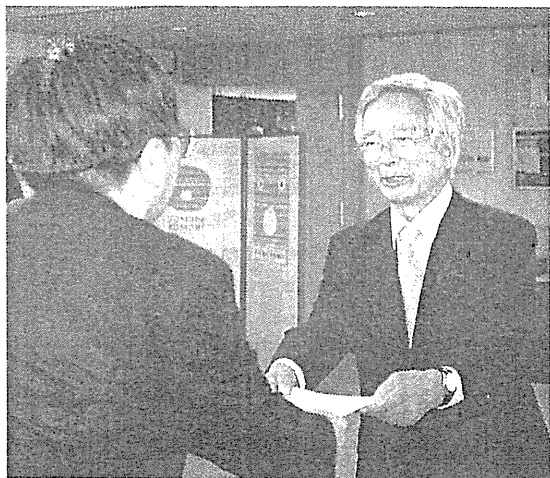


2009年(平成21年)7月31日 金曜日 (2)

県委嘱 原子力顧問に藤家氏

三村申吾知事は30日、前原子力委員長で東京工業大名誉教授の藤家洋一氏(73)に「原子力行政に関する顧問」を委嘱した。



三村知事から委嘱状を受け取る藤家氏

県庁知事室で委嘱状を受けた藤家氏は、原子燃料サイクルだ。それに専念していくことについて、お役に立ちたい」とあいさつ。

三村知事は「(六ヶ所再処理工場の試運転)第5ステップも、いろいろ検討しているよ。アドバイスを頂ながら、発言していきたい」と思っている。藤家氏はこの後、青森市内で開かれた県主催の講演会で、原子力

利用の将来展望などについて講演した。

県は国内外のエネルギー事情や地球環境問題など大局的な観点からの意見を聞くため、顧問を新設した。今後、知事が原子力分野で政策判断する際に適宜助

言を求めるといふ。顧問の任期は2年。

県によると原子力政策全般にわたる顧問の委嘱は、全国でも珍しいという。藤家氏は2001年から04年まで、国の原子力委員会の委員長を務めた。

県顧問に国の前原子力委員長

三村申吾知事は30日、県の原子力行政について助言する「原子力行政に関する顧問」を新設し、国の前原子



藤家洋一氏

力委員長、藤家洋一・東工大名誉教授(73)に顧問を委嘱した。使用

済み核燃料を再利用するプルサーマル計画の5年先送りを受けたもので、県原子力施設安全検査室は「これまで断を参考にしてきたが、今後は国内外の

情勢を踏まえた大局的な助言が必要」としている。三村知事から委嘱状を受けた藤家名誉教授は「資源の確保と環境保全を同時に満たせるものは何かを正面から

考えているのが今の青森県。サイエンスとしての将来展望をきちんとかんがえていくことが必要」と語った。任期は同日から2年間。

【鈴木久美】

河北新報 2009年7月31日(金)

前原子力委員長 藤家氏を顧問に

青森県



青森県は30日、前原子力委員長の藤家洋一氏(73)の写真を原子力

行政に関する顧問に委嘱した。県がエネルギー情勢などについて意見を求め、核燃料サイクル政策などに生かすのが狙い。任期は2年間。県庁で委嘱状を受け取った藤家氏は「エネルギー資源確保と環境保全を同時に満たすものを目

指す、県の取り組みを高く評価している。委嘱は大変光栄で、科学的な将来展望が描けるような助言をしたい」と述べた。

三村申吾知事は「世界的知見を得たことを大変うれしく思っている。大局的な施策展開に役立てたい」と期待を込めた。藤家氏は東大大学院電気工学専門課程博士課程修了。名古屋大、東工大などの教授を歴任。1995年原子力委員となり、2001～04年原子力委員長を務めた。